

第 83 号

平成28年 9 月 30 日 発行

編集・発行

(一社)新潟県サッカー協会広報委員会



# NiFA NEWS

## 2016希望郷いわて国体 成年男子・女子 少年男子出場!!

成年男子 新潟 VS 島根  
10月3日(月) 13:30 花巻市スポーツキャンプむら(人工芝)

成年女子 新潟 VS 茨城  
10月2日(日) 13:30 滝沢総合公園陸上競技場

少年男子 新潟 VS 宮城  
10月3日(月) 10:00 遠野運動公園陸上競技場

### 岩手国体出場に向けて

新潟県成年男子選抜チーム監督 有田 一矢



今回、岩手国体に出場するにあたり、たく

さんの皆様にご支援をいただき心より感謝しております。今年度の新潟県成年男子チームは新潟経営大学、新潟医療福祉大学、新潟大学、JAPANSAC

カールレッズの4チームからの選抜チームで構成されたチームで第37回北信越国民体育大会(長野県開催)に臨み1回戦石川県成年男子を延長戦の末2対0で勝利、代表決定戦の福井県成年男子も1回戦同様、延長戦の前半追加点を取り2対1で勝利することができました。成年男子におきましては、2015和歌山国体、2016岩手国体と連続出場を果たすことができました。本県代表としてスタッフ選手一丸となりベストを尽くし、より良い結果を残せるように9月27日(火)から約1週間、合同練習を行い岩手国体に臨みたいと思っております。

### 女子委員会を中心に行った U-17選抜活動と本国体に向けて

成年女子監督 板垣 雄平

この度、様々な方のご理解とご協力のもと、北信越国体を優勝することができました。そして、選手たちを大々きな怪我もなく無事にチームに送り返せたことが何よりでした。

この数年、新潟県女子委員会を中心に、選手育成に力を入れてきました。その活動が徐々に芽を出し始めてきたことを肌で感じられた成果でした。私がU-17選抜の監督を

### 北信越国体を終え本大会へ向けて

国体少年男子監督 原 伸洋

過日行われた北信越国体では、初日に福井と対戦し3-1で勝利しました。2日目、本県は試合がありませんでしたが、他県の結果により、3日目の富山戦を前に本大会への出場が決定しました。

取り組んでいただけに残念でした。富山戦では、前線からボールを奪いに来る相手をいなしながらビルドアップし、広くボールを動かして続けながら決定機を作り出すことを目標にしました。一定の成果はありましたが、富山の早生まれの選手に手を焼き、結果は2-2PK3-0での勝利でした。近年、本県のU16



その初年度の国体チームとして、本国体では、強化・育成が一つの形になった新潟県女子サッカーの力を存分に発揮できたらと思っています。今後、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。



## THE 96th EMPEROR'S CUP 第96回天皇杯全日本サッカー選手権大会

### アルビレックス新潟が3回戦を突破しラウンド16進出

第96回天皇杯全日本サッカー選手権大会 県勢成績

【1回戦】		
新潟医療福祉大学 (新潟県代表)	0 - 1	カタール富山 (富山県代表)
・初の出場も善戦むなしく惜敗		
【2回戦】		
アルビレックス新潟 (J1)	5 - 3	関西学院大学 (シード:前年大学覇者)
・ラファエル・シルバの一人舞台(4得点)で大学No.1に勝利		
【3回戦】		
アルビレックス新潟 (J1)	1 - 0	レノファ山口 (J2)
・3回戦の壁を突破、ラウンド16を超え頂点を目指す		

アルビレックス新潟は、天皇杯とリーグ戦が重なる過密日程の中、9月22日デンカビッグスワンスタジアムにレノファ山口FC(J2)を迎え3回戦を戦いました。リーグ戦と異なるフレッシュな陣容でアグレッシブに戦い、途中出場の上崎亮平選手が77分に左足からのゴールで決勝点を奪い勝利しました。過去5度苦しんだ3回戦の壁を突き破り6年ぶりのラウンド16進出を果たしました。この勢いで上位を目指します。なお、新潟県選手権(都道府県代表決定戦)を制覇し新潟県代表として初出場を果たした新潟医療福祉大学サッカー部は富山県代表のカタール富山に健闘むなしく0対1で惜敗しました。

ラウンド16は10月4日に抽選会を開催し対戦カード、会場が決定されます。





### 皇后杯全日本女子 サッカー選手権大会に向けて

JAPANサッカーカレッジレディース監督  
**板垣 雄平**



今年度で6年連続6回目に出場になりましたが、難しいシーズンの中、今年度の出場権を獲得できたのは、チームにとつて非常に価値のあるものだと思います。最後に、いつも声援・応援して頂いているサポーターの皆さま、心から感謝申し上げます。この感謝の結果で恩返し致します。

状況の中で、チームが一つの目標に対して真摯に向き合えたこの時間は、素晴らしいものでした。出場機会の少ない選手が出場して結果を出し、全員で勝ち取ったものになりました。この素晴らしい時間を今後の活動に繋げていくことが重要です。「JSCCLらしさ」を全国の舞台で披露できるように、準備していきます。

### 皇后杯本戦へ向けて

新潟医療福祉大学女子サッカー部監督  
**奥山 達之**



第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会北信越大会において、優勝することができ、協会をはじめとして、

第38回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会北信越大会において、優勝することができ、協会をはじめとして、

大会の出場権を獲得できたのは、チームにとつて非常に価値のあるものだと思います。最後に、いつも声援・応援して頂いているサポーターの皆さま、心から感謝申し上げます。この感謝の結果で恩返し致します。

### NiFA パラ・サッカー フェスティバル 2016

パラフェスティバル 事務局長 **石附 秀一**



9月25日(日)新潟聖籠スポーツセンター(アルビレックス)にて、主催(一社)新潟県サッカー協会 協力新潟県障害者スポーツ協会、新潟県ブラインドサッカー協会、知的障害者サッカークラブ、ハットトリック、C P (脳性まひ) サッカーチーム、パラボックス、JAPANサッカーフェスティバルによる試合形式メニュー、パラボックスサポーターによるトリックVSパラボックスの交流戦を行いました。

障がい者サッカーの普及イベントの初の試みで、どうなるのかが期待と不安がありました。参加された皆様は笑顔で楽しく行っていました。

第13回全日本女子フットサル選手権大会北信越大会を終えて  
ALoggar2005監督 **齋藤 大樹**  
ALoggar2005も成績が悪く、とても不甲斐ない結果に終わりました。今年度は例年と異なり、北信越大会には参加させていただけませんでした。今年度は例年と異なり、北信越大会には参加させていただけませんでした。

### 上越地区便り

女子上越地区委員長 **川原 寿夫**

今回の上越地区便りは、夏休み最後の週は、8月7日の夜に「上越なでしこ」さん、お子さんのプレーを見てほしいという思い、ベンチ入りした選手は全員ゲームに出場させる事というレギュレーションを設定しましたが、今年は妙高カップが琵琶湖カップの北信越予選(参加チームから2チームを琵琶湖カップに推薦、特に問題なければ1・2位のチームでしようか)を兼ねた大会になり、大会主催側と参加チームの、大会に対する意味合いに少し異なっています。

### 第28回全国レディース サッカー大会北信越大会

女子委員長 **佐野 裕子**

10月1日・2日、グクの良さ、新潟らしさを全面に出し悔いのない試合を楽しんで欲しいと思っております。今年度新潟県は開催の為、2チームという参加枠がありました。残念ながら1チームのみの参加となりました。新潟県からはFC Jewellが参戦致します。各県ともレベルアップしている中で北信越強豪チームの胸を借り、チームワークを高めたいと思っております。



最後に、北信越大会、北信越リーグの際にご協力していただいた皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

昨年からの北信越女子フットサルリーグにも参戦させていただいており、ALoggar2005はそこで経験値を上げていくことはもちろんですが、その経験したことを県に反映させていくことを一つの使命でもあり、戦っております。北信越大会、北信越リーグで経験したことを糧に日々精進することと、もちろん、女子フットサルの普及に

引き続き、妙高カップですが、例年行われていたガールズエイトが開催する事が出来なくなり、県内の女子の大会を減らしたくないという事で設けました妙高カップも早3回目となり、上越地区として



活動して行きたいと思っております。



# 第20回国際ユースサッカー in 新潟

## U-17メキシコ代表の優勝で幕を閉じる



第20回 国際ユースサッカー in 新潟を終えて  
U-17新潟県選抜監督 青木 宗

今回は国際ユースサッカー in 新潟に参加をさせていただき、選手・スタッフ共に非常に貴重な経験をさせていただきました。また、本大会が第20回と節目を迎えられたことを喜ぶと同時に記念すべき年に参加ができたことを大変光栄に思います。これも県サッカー協会をはじめ、大会運営に関わって下さった多くの方々のご協力のおかげであると感謝しています。この場を借りて、感謝申し上げます。

「ハードワーク」攻守にわたり積極的に走り続けられること。「トランジション」攻撃の切り替えを素早くスムーズに行えること。

「コミュニケーション」ピッチ内外問わず互いの意思疎通がはかれること。これらの3つをチームのベースとして、今回の県選抜チームは「優勝」という目標を掲げて大会に臨みました。チームの核となったのは昨年度の和歌山国体に出場した選手となりましたが、今まで選抜に残れずに悔しい思いをしてきた選手たちも努力の成果と大会への意欲を示してくれました。短い準備期間ではありましたが、コンパクトな守備とサイド攻撃を確認して本番を迎えました。

最後にありますが、県選抜の活動にご協力いただいた全ての皆様、心よりお礼申し上げます。本大会にありがとうございました。

第20回国際ユースサッカー in 新潟 大会結果

	U-17 メキシコ代表	U-17 日本代表	U-17 クロアチア代表	U-17 新潟選抜	勝点	得点	失点	点差	順位
U-17 メキシコ代表	-	0 ● 2	5 ○ 1	3 ○ 1	6	8	4	4	1
U-17 日本代表	2 ○ 0	-	1 △ 1	1 ● 2	4	4	3	1	2
U-17 クロアチア代表	1 ● 5	1 △ 1	-	2 ○ 1	4	4	7	-3	3
U-17 新潟選抜	1 ● 3	2 ○ 1	1 ● 2	-	3	4	6	-2	4



聖籠町 スポアイランド聖籠 7月16日(土) 17:00～ U-17 日本代表 VS U-17 メキシコ代表  
7月17日(日) 17:00～ U-17 日本代表 VS U-17 クロアチア代表

新発田市 五十公野公園陸上競技場 7月16日(土) 17:00～ U-17 新潟選抜 VS U-17 クロアチア代表  
7月17日(日) 17:00～ U-17 新潟選抜 VS U-17 メキシコ代表

新潟市 デンカビッグスワンスタジアム 7月18日(月) 15:50～ U-17 新潟選抜 VS U-17 日本代表  
7月18日(月) 18:30～ U-17 クロアチア代表 VS U-17 メキシコ代表

力の高い選手に対応しきれない部分があり、失点を重ねてしまいました。しかし勇気を持ってチャレンジした成果が得点という形で表れました。2連敗で自信を失ってしまいましたが、選手たちはナショナルチームに対しても一定の手応えを感じてくれていました。そして最終戦となった日本代表との試合。「このままでは終われない。」チームの思いは1つでした。粘り強くハードワークを続け、素早い攻撃から得点を奪い取った。チームとしての成長が最後に勝利という結果につながったと思います。

大会の最終成績は4位と目標を達成することは出来ませんでした。しかし選手は今後に向けて手応えと課題を得てくれました。また、姿が新潟のサッカー少年たちに夢や希望を与え、育成年代から関わって下さった指導者の方々にも新潟県選抜の成長をお見せできたのであれば責任を果たせたと思います。

20回を迎えた国際ユースサッカー in 新潟は、U-17日本代表・U-17メキシコ代表・U-17クロアチア代表・U-17新潟選抜を迎え、新潟市・新発田市・聖籠町の3市町を会場に実施されました。前年大会での選手の熱中症による途中棄権を踏まえ、万全の体制をもち運営にあたりました。大会は、来年の世界大会に向けてこの年代の強化を推し進める海外勢を日本勢が迎える機会となりました。

国際ユースサッカー in 新潟の関連イベントとして、聖籠町・新発田市・新潟市でサッカー教室を開催しました。講師に福田正博・名良橋晃の元日本代表両氏を招きアルビレックス新潟の全面協力を得て開催しました。両講師とアルビレックス新潟スクールスタッフの熱意と情熱と愛情が溢れた指導は参加した子どもたちに限らず見守って下さった指導者や保護者の方に感動を与えたものでした。各地域のサッカー選手に限りなくサッカーを初めて経験する子どもたちまで幅広い層の子どもたちを引き付けた教室は、サッカースポーツの可能性を更に拡大させるものでした。参加者の期待に応えるため、今後も告知・広報を強化しこの事業を継続してまいります。

### 国際ユースサッカー in 新潟 報告書

### 国際ユースサッカー教室



◆第38回皇后杯 全日本女子サッカー選手権大会 2回戦のご案内

以下のとおり皇后杯2回戦を開催いたします。

アルビレックス新潟レディースをはじめ新潟医療福祉大学、ジャパンサッカーカレッジ女子選手の活躍にご声援をお願いいたします。

開催日：2016年10月29日(土)、30日(日)  
両日各2試合 計4試合実施  
会場：新発田市五十公野公園陸上競技場 (グリーンスタジアムしばた)

※入場無料  
※組合せ、試合時間等の詳細は後日決定  
昨年、決勝戦で惜敗したアルビレックス新潟レディースの優勝を目指した戦いが始まります。他の県内女子チームは上位を目指し1回戦を戦います。

1回戦 10月22、23日 全国4会場

◆NiFAパラ・サッカー フェスティバル2016

県サッカー協会では、多くの方々のご支援とご理解をいただき障がい者サッカーの普及発展の第一歩としてフェスティバルを開催いたしました。当日は、100名を超える皆様にご来場いただき、観戦及び参加いただきました。県協会では今後も障がい者サッカーの普及活動を行ってまいります。

日程：2016年9月25日(日)  
9時50分～13時00分  
会場：新潟聖籠スポーツセンター アルビレッジ